

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

市議会議員となり一年を迎えての感想と決意

我孫子市では高齢化が進み日常生活に色々な問題が生じているなか、歩道の段差などを取り上げて少しでも解決できるように頑張っています。市議会では議案を思う様に通せず、どうしても数で負けてしまいます。



市議会での質問に立つ
船橋優議員

皆様のお力添えで市議会議員に当選させていただき、何も分らず議会に立った日から、早いもので気が付くと、一年が過ぎました。今は市政の事もだいぶ分かって来ました。

議員活動一年を振り返り



この一年、自然災害や戦争など人々にはつらい出来事がたくさんありました。先口、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことに長崎出身者としてとても嬉しく思いました。何より平和が一番だと考えています。

この一年、自然災害や戦争など人々にはつらい出来事がたくさんありました。先口、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことに長崎出身者としてとても嬉しく思いました。何より平和が一番だと考えています。

鈴木屋が解体作業中です

先口、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことに長崎出身者としてとても嬉しく思いました。何より平和が一番だと考えています。

この一年の出来事

この一年、自然災害や戦争など人々にはつらい出来事がたくさんありました。先口、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことに長崎出身者としてとても嬉しく思いました。何より平和が一番だと考えています。

このように、市民に愛された鈴木屋が解体されるのは悲しい限りです。跡地にはまたマンションが建つのでしょうか、これからも見守ってゆきたいと思えます。



建設関係の仕事、組合もあり日々時間追われていきますが、毎朝続けている子どもたちの見守りで元気をもらっています。

建設関係の仕事、組合もあり日々時間追われていきますが、毎朝続けている子どもたちの見守りで元気をもらっています。

現況とこれからの決意

建設関係の仕事、組合もあり日々時間追われていきますが、毎朝続けている子どもたちの見守りで元気をもらっています。

11月23日、アピスタ和室において「市政を語る会と総会」が開催されました。市政を語る会は岩井・船橋議員から9月議会の報告がありました。

岩井議員は①第4次総合計画基本構想・前期基本計画について②我孫子市学区統廃合・小中一貫問題について…を質問しました。

船橋議員は①防災・減災について②市内公共施設の階段等危険箇所の点検を③だれもが住み良い町へ(我孫子駅の「みどりの窓口」の再開を願う)…を質問しました。

船橋議員は①防災・減災について②市内公共施設の階段等危険箇所の点検を③だれもが住み良い町へ(我孫子駅の「みどりの窓口」の再開を願う)…を質問しました。

市政を語る会と総会開催される

11月23日、アピスタ和室において「市政を語る会と総会」が開催されました。市政を語る会は岩井・船橋議員から9月議会の報告がありました。

今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。



新規券売機ではなく市内にみどりの窓口を1カ所は残してほしい。

新規券売機ではなく市内にみどりの窓口を1カ所は残してほしい。そのあと総会が行われ議案が承認されました。

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/>です。スマホのQRコードはこちらから。→



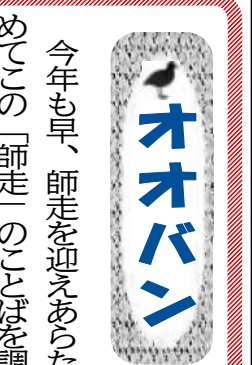
今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。

今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。

今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。

今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。

今年も早、師走を迎えあらためてこの「師走」のことを調べてみた。師走は、旧暦の12月下旬から翌年の2月上旬頃までを表すことばだと言つこの一年、一月一日 能登半島地震で正月早々多くの人を震撼させ、すくさま航空機事故で今年ほどんな年になるのかと日本全土に恐怖が走った。そして夏は異常な酷暑が続く、もはや日本は熱帯地帯となった▼政治の世界では「政治とカネ」を巡る審議が延々と続き、国民の怒りは頂点に達した▼去年の一年を表す漢字は「税」であったが、選挙後も国民が望む税体系とはならず、国民1人当たり2500円の納税でほいほの党運営がされている(日本共産党は受け取っていない)▼話が横道にそれたが、この12月「師走」というのは僅侶のような普段落ちついている人でも多忙で走り回る。なぜならこの月は「仏名会」という法要を行うからだといつ▼年の最後の月の意味から「限りの月」とも、また「春待月」とも言われている▼来年こそ、庶民が待ち望む暖かな春となる年であつてもいい。

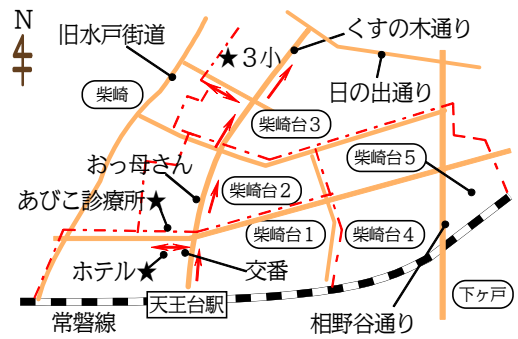


我孫子古道巡り 2077 柴崎台の西側を巡る



天王台駅北口前

今回は、「柴崎台」の西側を巡ります。
柴崎台は、天王台駅開設に伴い、昭和45年に西の旧水戸街道近辺を除き、駅北側の区画整理が始まり、平成13年に換地が終了しました。柴崎の多くと、東の下ヶ戸から成ります。区画整理以前は、原野・山林が広がり村人が田畑を営んでいた地域で、「柴崎台1〜5丁目」は昭和57年に住居表示



戻り、くすの木通りを北上します。スーパージョーンズ「おっ母さん」が通り沿いにあり、



あびこ診療所

「あびこ診療所」があります。2丁目側には「あびこ診療所」があります。



ホテルマークワンアビコ

天王台駅北口を出ると、北に延びる道路があります。「くすの木通り」です。西に入る道が、1丁目と2丁目の境界です。1丁目側に

参考文献「我孫子の地名と歴史」
(栄 関口)

以前は我孫子警察署の辺りにあり、4年生から一小に通っていましたが、昭和24年に一小から分離し、三小となりました。
戻り、北へ歩くと「青山」で、やがて「日の出通り」に突き当たります。



三小

この辺りから街路樹の美しい風景が目立ちます。西に入ると「三小」です。



くすの木通りの街路樹

しほりく進み3丁目です。

このインバータ制御の装置はドイツの電機メーカー

特に電流をコントロールする制御機器については、当時既にエアコンや冷蔵庫などの家電製品でも実用化されていた、電流を直流から交流に変換したり周波数を変えたりするインバータ制御技術はJR東日本で初めて採用しました。



常磐線E501系

であるシーメンス社製で、最大の特徴は発車時に発する音が「ドレミファソラシド」、停車時に発する音が「ドシラソファミレド」と音階に似ていることから、鉄道ファンからは「ドレミファインバータ」・「歌う電車」とも呼ばれました。



「ハイビスカス」

若松・高橋祥子

常磐線あれこれ 46

E501系は現在の通勤型車両の主流となっているステンレス車体に常磐線カラーのエメラルドグリーンと、当時の中距離電車の車体の色であるクリーム色を組み合わせたラインをラッピングして、どちらかといえば常磐線各駅停車の車両



オールロングシートの車内

しらかば文芸欄 27 俳句・湖北台 頼生

九条署名かじかむ手から署名呼ぶ
早芽吹き花はいつ咲く無限大
行進の靴底熱き原爆忌
炎天下諦めるなよ辺野古抱く
ゆく年や来る年がありまだ人生

に似たデザインの車両でした。
車内は当時の常磐線快速電車と同じオールロングシートで、緑色を基調とした(硬い!)シートモケットを採用。通勤用途に特化した車内のためにトイレの設置は見送られたのですが、これが後に乗客からの苦情が続出することになりました。(次号へ続く)
(緑 竹内)